

勝瑞発掘だより 第3号

8月7日(土)に勝瑞館跡第10次発掘調査現地説明会が開催されました。
参加者約120人と大勢の見学者が来られ大変なにぎわいでした。



調査では、濠跡が良好な状態で検出されました。濠の規模は、調査区北端で上幅約13m、深さ約3mになります。広範囲にわたる館の四周を区画した大規模な濠が、今後の勝瑞館跡の構造を解明する上で大きな発見といえるでしょう。当時の県内外の中世居館や中世集落の区画溝と比較すると、非常に大規模な濠であり、戦国武将であった三好氏の個性あふれる勝瑞の様子があ

かがえます。

また調査で新たに発見された東濠から分岐して、西へ延びる濠の確認や現地説明会後の発掘調査で、新たに多くの呪符木簡や漆器椀のような当時の生活遺物の出土が、中世史を解明していく上での貴重な資料となるでしょう。





当日は、町内の小学生や考古学ファンら多くの参加者が、勝瑞館跡から出土した遺物の展示を熱心に観賞していました。

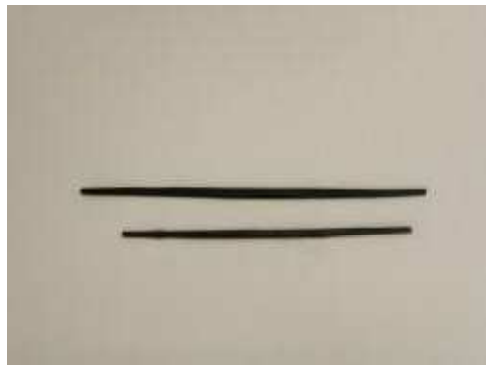
たくさんの陶器や中国磁器なども出土しています。



東濠（第5層）から現地説明会後に出土した遺物です。



勝瑞館跡から出土した漆碗。黒漆地に朱で文様が描かれています。勝瑞の人々の生活で漆碗が、使用されていたことがわかります。



箸

両端がきれいに削られています。



柄杓

完全な形で出土しています。



（安宅）

問い合わせ先：勝瑞館跡発掘現場事務所

TEL 088-641-3466

E-mail: syugomachishouzui@air.ocn.ne.jp

URL: <http://www15.ocn.ne.jp/~shouzui/>

編集・発行：藍住町教育委員会 2004年8月